

## 施策2

## 社会性と豊かな心を育む教育の推進

### 1 心の教育の充実 (教育研究所)(教育相談室)

#### ● 具体的な取組

##### (1) 「考え、議論する道徳」の実施

児童生徒が日常生活で直面する様々な事象を自分自身の問題ととらえ、仲間と語り合いながら多面的・多角的に考えることで、自分の生き方を見つめ直す道徳の授業を実施します。

令和7年度計画
・令和7年度道徳教育計画訪問実施予定 平和中学校区(昭和小、池田小、平和中)、北陵中学校区(北栄小、北陵中)
取組・実績
<実施内容> ・道徳教育計画訪問において、道徳の時間の充実のための交流を実施しました。 (上記の令和7年度道徳教育計画訪問実施予定校5校) ・道徳教育計画訪問において、「考え、議論する道徳」の充実について指導・助言を行いました。 <主要な事業費(R7年度予算)> なし
成果・効果
・中学校区で、児童生徒や地域の実態を踏まえた道徳教育について共通理解できました。
令和8年度取組予定
・令和8年度道徳教育向上訪問実施予定

##### (2) 子どもの権利を含む人権教育研修の実施

多岐にわたる人権問題からテーマを設定して人権教育講演会を開催します。また、子ども達が正しい人権感覚を養う指導ができるように教員の研修を充実させます。

令和7年度計画
・「子どもの権利セミナー」、「人権同和教育講演会」、「人権教育主任研修会」を継続して実施します。
取組・実績
<実施内容> ・「子どもの権利セミナー」を7月に実施しました。(教職員約30名参加 共催：くらし人権課) ・「人権同和教育講演会」を8月に実施しました。(教職員約130名参加 共催：くらし人権課) ・「人権教育主任研修会」を実施し、「多治見子ども権利の日」について啓発をしました。 ・笠原中学校区が文部科学省指定の人権教育総合推進地域となり、外国人差別を中心に、障がい者差別やLGBTQ等をテーマに学習しました。 <主要な事業費(R7年度予算)> なし
成果・効果
・子どもの権利や、人権同和教育問題について理解を深めることができました。
令和8年度取組予定
・「子どもの権利セミナー」、「人権同和教育講演会」、「人権教育主任研修会」を継続して実施します。

### (3) いじめや差別偏見のない正しい人権感覚の育成

小学校5年生、6年生、中学校1年生の3学年を対象に、弁護士による「いじめ防止・自立と共生授業」を行います。いじめを許さない、起こさせない心情を持ち合わせる児童生徒の育成をより一層推進します。

令和7年度計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止・自立と共生授業」を引き続き実施します。</li> <li>・情報提供を行い、本事業について広く周知させていきます。</li> </ul>
取組・実績
<p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは身近な人権侵害という観点から、いじめをさせない・しない心情を養い行動力を培うために、弁護士による「いじめ防止・自立と共生授業『いじめについて考えよう』」を実施しました。(実施校：小泉小・多治見中・昭和小・北栄小・共栄小・笠原中・陶都中)</li> </ul> <p>&lt;主要な事業費（R7年度予算）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士への謝礼 210千円</li> </ul>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後のアンケートの結果、「人権についての理解」では、小学校では91%、中学校で89%の児童生徒が、「よく分かった」「分かった」と答えました。また、「いじめをなくすために自分がすべきことの理解」については、小学校では95%、中学校で94%の児童生徒が、「よく分かった」「分かった」と答えました。</li> <li>・弁護士が授業を行うことで、児童生徒がいじめを許さない気持ち、傍観者の行動が重要になってくるという気持ちを一層強くもつことができました。</li> <li>・市として取り組んでいることについて、弁護士の方々から好意的な評価をいただきました。</li> </ul>
令和8年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止・自立と共生授業」を引き続き実施します。</li> <li>・情報提供を行い、本事業について広く周知させていきます。</li> </ul>

### (4) 地域、幼稚園・保育園、学校間で連携した豊かな体験活動の推進

地域人財を活用した体験活動や、幼稚園・保育園と学校との交流活動等を行うことで、体験的に学びを深めたり、様々な人との関わり方を学んだりします。

令和7年度計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や異年齢との交流を引き続き積極的に行います。</li> </ul>
取組・実績
<p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各園、学校の計画に合わせて実施しました。</li> </ul> <p>(例) 北栄小学校に明和幼稚園、旭ヶ丘保育園などの園児を招待し、1年生との交流を行いました。</p> <p>地域の方々に野菜づくりの世話や年中行事の講師をお願いしました。</p> <p>&lt;主要な事業費（R7年度予算）&gt;</p> <p>なし</p>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して、地域の方や異年齢の子との関わり方を学ぶことができました。</li> <li>・お世話になった方々へ感謝の気持ちを示すことができました。</li> </ul>
令和8年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や異年齢との交流を引き続き積極的に行います。</li> </ul>

## ● 計画の成果目標

「みんなと違う意見も大事であると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 (「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「共生」の項目)		
基準値 (令和4年度)	現状 (令和7年度)	目標 (令和9年度)
小学校 92.1% 中学校 91.0% (令和3年度結果)	小学校低学年 94% 小学校高学年 96% 中学校 99% ※令和6年度 小学校低学年 92.5% 小学校高学年 96.4% 中学校 98.1%	小学校 95%→ <u>小学校低学年 96%</u> <u>小学校高学年 98%</u> 中学校 95%→ <u>中学校 99%</u>

「自分のよさを認めてくれる仲間がいると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 (「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「自己有用感」の項目)		
基準値 (令和4年度)	現状 (令和7年度)	目標 (令和9年度)
小学校 86.6% 中学校 88.0% (令和3年度結果)	小学校低学年 81% 小学校高学年 91% 中学校 94% ※令和6年度 小学校 77.6% 小学校 90.5% 中学校 92.5%	小学校 90.0%→ <u>小学校低学年 90%</u> <u>小学校高学年 93%</u> 中学校 90.0%→ <u>中学校 96%</u>

「自分にはよいところがあると思うか」の質問に「とてもそう思う」「思う」と回答した割合 (「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「自己肯定感」の項目)		
基準値 (令和4年度)	現状 (令和7年度)	目標 (令和9年度)
小学校 83.5% 中学校 77.8% (令和3年度結果)	小学校低学年 88% 小学校高学年 85% 中学校 87% ※令和6年度 小学校低学年 84.6% 小学校高学年 82.7% 中学年 84.1%	小学校 85%→ <u>小学校低学年 90%</u> <u>小学校高学年 87%</u> 中学校 80%→ <u>中学校 90%</u>

## 2 キャリア教育の推進（教育研究所）

### ● 具体的な取組

#### (1) 自己の良さや可能性を発揮する学級経営の充実

特別活動の学級活動を中心として、集団生活の中で自分の役割を果たしながら、自己の良さや可能性を発揮する機会を充実させます。

#### (2) 自身の成長を振り返る記録「キャリアパスポート※」の活用

「キャリアパスポート」を作成し、新たな学習や生活への意欲をもったり、生き方を考えたりする活動を充実します。

※キャリアパスポート・・・小学校入学から高等学校卒業までの自身の変容や成長を自己評価できるよう記録を綴ったファイル

令和7年度計画
・自他を認め合う学級経営の充実について啓発します。 ・キャリアパスポートの活用を継続します。
取組・実績
<実施内容> ・U-6研修において自他を認め合う学級経営の充実について指導しました。 ・全学校でキャリアパスポートを活用し、自身の変容や成長を自己評価しました。 <主要な事業費（R7年度予算）> なし
成果・効果
・キャリアパスポートに記録を継続的に蓄積することで、自身の変容や成長を自覚することができました。
令和8年度取組予定
・自他を認め合う学級経営の充実について啓発します。 ・キャリアパスポートの活用を継続します。

#### (3) 企業や各種団体と連携した職業講話、職場体験の実施

発達段階に応じた望ましい勤労観や職業観を養うために、様々な分野で活躍する人や地域で仕事をしている方々との交流や、職場での体験学習などを実施します。

令和7年度計画
・職場体験や職業講話を継続して実施します。 ・オンラインキャリア教育を継続して実施します。
取組・実績
<実施内容> ・各学校の計画に基づき、キャリア教育を実施しました。 ・申請のあった小・中学校に職業講話の講師謝礼金を補助しました。 ・全小中学校で、オンラインキャリア教育を実施しました。 ・精華小学校・市之倉小学校・脇之島小学校の5年生において、JFA主催「夢の事業」を実施しました。 <主要な事業費（R7年度予算）> ・報償費・委託料 1,890千円



### 3 読書活動の充実 (教育研究所) (こども家庭課)

#### ● 具体的な取組

##### (1) 読書を楽しみ読書から学ぶ機会の充実(読み聞かせ・ビブリオバトル・電子書籍等)

成長の過程に応じた本との出会いの場を設け、本を読むことが好きな子どもを育成することで、自ら読書する習慣を身につけていきます。幼児期は、幼稚園・保育園だけでなく、家庭で親と子が読書を通じてふれあうよう促します。学童期は、他者とのコミュニケーションの中で読書の良さを体験できるような機会を提供します。

※ビブリオバトル・・・お薦めしたい本の魅力を語る書評合戦

##### (2) 学校図書館機能の充実

自由な読書や読書指導の場となる「読書センター機能」、児童生徒の学習内容を深めたり広めたりする「学習センター機能」、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター機能」が充実するよう、図書主任研修会や司書交流会を行います。

##### (3) 子どもの読書活動の評価改善を図る「子どもの読書活動推進委員会」の開催

「多治見市子どもの読書活動推進計画」に基づき、取組状況の交流や進捗状況を評価する「子どもの読書活動推進委員会」を開催します。

令和7年度計画
・「第3次多治見市子どもの読書活動推進計画」を周知し、取組を実施します。
取組・実績
<実施内容> ・発達段階に応じた良書を読む機会を作るために、「うながっぱブックカード」を配付しました。 ・電子図書「School e-library」を導入し、紙の本と合わせて読書の機会を設けました。 ・年間目標冊数を達成した児童生徒に多読賞を渡しました。 ・東濃地区教育推進協議会主催の図書館教育賞で、小泉小学校が奨励賞を受賞しました。 ・新聞を活用した学習「NIE」を行いました。 ・新聞アプリ「チュースク」の活用講座を行いました。 ・「第3次多治見市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、取組を実施しました。
<主要な事業費（R7年度予算）> ・印刷製本費 327千円
成果・効果
・図書館利用や読み聞かせの会を開催し、読書に親しむ機会を充実させることができました。 ・おすすめの本の紹介や読んだ感想交流など、読書を通して他者と関わる場を提供することができました。
令和8年度取組予定
・「第3次多治見市子どもの読書活動推進計画」を周知し、取組を実施します。

## ● 計画の成果目標


「本を読むことが好きか」の質問で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合 (「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「読書」の項目)		
基準値 (令和4年度)	現状 (令和7年度)	目標 (令和9年度)
小学校 79.3% 中学校 66.8% (令和3年度結果)	87% (小学校低学年) 78% (小学校高学年) 68% (中学生) ※R6年度 85.2%(小学校低学年) ※R6年度 78.8%(小学校高学年) ※R6年度 64.6% (中学生)	小学校 85% 中学校 70%

年間読書冊数 (多治見市子どもの読書活動推進計画の調査結果)		
基準値 (令和4年度)	現状 (令和7年度)	目標 (令和9年度)
小学校(低) 120冊約 86.3% 小学校(中) 80冊約 75.9% 小学校(高) 60冊約 73.4% 中学校 30冊約 19.7% (令和3年度結果)	調査中 (R8.3結果集計)	小学校(低) 120冊 90% 小学校(中) 80冊 80% 小学校(高) 60冊 75% 中学校 15冊 50%

● 具体的な取組

(1) 土曜学習講座「わがまち 多治見大好き講座」の実施

郷土の豊かな歴史や文化を体感できる土曜学習講座を企画し、多治見への愛着を醸成します。また、中学生ボランティアが主体的に活動できる機会を提供します。

令和7年度計画	
<p>・年間11回程度を企画しています。</p> <p>5月「多治見の歴史探偵になろう①下街道なぞときツアー」、6月「美濃焼名人になろう」2回 7月「多治見の上絵付師になろう」、8月「多治見の現代陶芸家になろう」 9月「多治見の歴史探偵になろう②虎溪山永保寺」 10月「多治見の歴史探偵になろう③オリベストリート」 11月「タイル博士になろう」、12月「R7多治見の歴史探偵が決定！」 1月「チャレンジスポーツ in 多治見」、2月「多治見ふるさとしごと塾」</p> <p>・学びパークとの連携により、多治見の歴史をより深掘りした資料を作成し「多治見の歴史探偵になろう」を4回シリーズで実施します。また、人気があるのに人数に制約がある「美濃焼名人になろう」は、午前と午後の2回実施を計画し、誰もがより深く追究できるように工夫します。</p>	
取組・実績	
<p>&lt;実施内容&gt;</p> <p>5月「多治見タイムマシン大作戦①300年前 下街道なぞときツアー」(47人) 6月「多治見陶芸探検隊①～美濃焼名人になろう～」※2回開催(63人54人) 7月「多治見陶芸探検隊②～多治見上絵付けに挑戦!～」(90人) 8月「多治見陶芸探検隊③～現代アートに挑戦!～」(124人) 9月「多治見タイムマシン大作戦② 700年前 虎溪山永保寺」(44人) 10月「多治見タイムマシン大作戦③ 100年前 オリベストリート」(49人) 11月「多治見陶芸探検隊④～タイル博士になろう～」(40人) 12月「多治見タイムマシン大作戦④ R7へ帰還せよ!そして未来へ」(23人) 1月「チャレンジスポーツ in 多治見」(80人) 2月「将来マナビジョンⅢ」(300人) 追加10月 クリエイティブレインボープロジェクト(100人)</p> <p>&lt;主要な事業費(R7年度)&gt;</p> <p>・報償費 830千円</p>	
 <p>&lt;9月 虎溪山永保寺&gt;</p>	
成果・効果	
<p>・多治見市の伝統、文化、産業等について学ぶことができる貴重な機会であり、参加者や保護者からも好評でした。多治見の課題を自分事ととらえ、50年後の多治見と自分の夢を考えるきっかけとなりました。</p> <p>&lt;アンケート結果&gt;</p> <p>(受講者が講座の内容と関連した自分の夢をイメージしている割合)</p> <p>多治見の陶磁器産業について 8月 17% → 11月 65%</p> <p>多治見の歴史について 9月 56% → 10月 73%</p> <p>(その他記述)</p> <p>・未来はタイルが盛んになって街のいろいろな所に飾りや作品が飾ってあったらいいと思う。そのために今は、タイルとタイルの材料を大切にしたい。(小4)</p> <p>・50年後の多治見はきっと日本の大切な文化として後世にも受け継がれていると思う。だから今の小中学生が、多治見の大切な陶磁器や茶の湯の文化をもち続けている。(中2)</p>	

## 令和8年度取組予定

- ・年間11回程度を企画しています。
  - 5月「タイムマシン大作戦① 虎渓山永保寺」、6月「タイムマシン大作戦②下街道」
  - 7月「陶磁器探検隊①美濃焼名人になろう」、9月「陶磁器探検隊②現代陶芸家になろう」
  - 10月「タイムマシン大作戦③オリベストリート」
  - 11月「ENGLISHで世界旅行」地球村
  - 12月「タイムマシン大作戦④R8に帰還せよ！」
  - 1月「陶磁器探検隊③タイル博士になろう」、2月「陶磁器探検隊④上絵付師になろう」
  - 2月「チャレンジスポーツフェスティバル in 多治見」
- ・11月には、地球村で各国のブースを旅する世界旅行を行います。交流のツールはENGLISH。多文化共生の体験です。2月のチャレンジスポーツは、多治見ロータリークラブとの共催で、各種スポーツの醍醐味を体験する企画を工夫します。

## (2) 地域の文化財を活用した学びの機会の充実

地域の文化財を学校で展示し、実物を見たり体験したりすることや、地域の歴史をテーマとした講師による授業を開催することで、多治見の歴史や伝統文化の学びにつなげます。

### 令和7年度計画

- ・喜多町西遺跡公園での大昔の暮らし授業（随時）を行います。
- ・「昔のくらし体験セット」を活用した貸出、出張授業（随時）を行います。
- ・ロイロノートでの文化財ワークシートの配信を行います。

### 取組・実績

#### <実施内容>

- ・喜多町西遺跡公園での大昔のくらしの解説および火おこし等体験（小泉小・6月）
- ・国長邸跡見学出張授業（養正小・6月）
- ・かやぶき職人によるかやぶき指導、体験（7月）
- ・喜多町西遺跡・池田1号古墳の現地での出張授業（池田小・11月）
- ・地域の方によるしめなわづくり指導（12月）
- ・市有形文化財 多度神社の見学会（昭和小・11月）
- ・民具等展示室（R4年度設置）を活用した昔のくらし授業の実施（脇之島小・2月）
- ・昔のくらし授業の実施（名古屋市上社小1・蓬来小2月）

#### <主要な事業費（R7年度予算）>

- ・講師等謝礼金 80千円

### 成果・効果

- ・地域の歴史や文化財を、本物の資料や出土遺物を目の当たりにしながら体験を通して学ぶことで、歴史・文化への理解がより深まるという意見をいただいています。
- ・文化財の技術を体験する会を行い、見るだけでなく体感することでより文化財への理解を深めることができました。
- ・昔のくらし授業では、70代～80代の方に昔の道具の使い方や、どんな暮らしだったかを直接教えてもらう機会をもち、当時の暮らしの生の声を聞くことができたことにより、地域の歴史・文化により興味を持ってもらうことができました。

## 令和8年度取組予定

- ・喜多町西遺跡公園での大昔の暮らし授業（随時）を行います。
- ・「昔のくらし体験セット」の戦争や窯業資料の内容の見直しをして貸出、出張授業（随時）を行います。
- ・ロイロノートでの文化財ワークシートの配信を行います。


## (2) 地域について学ぶ社会科副読本の改訂及び活用

小学校社会科副読本「わたしたちの多治見市」は、多治見市や地域の産業・文化・歴史について学ぶ教材で、中学年を中心に活用します。毎年の小改訂と、4年毎に大改訂を行います。

令和7年度計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小改訂を行い、改訂内容について周知し、授業での活用を推進します。</li> <li>・デジタル版も含めた副読本による効果的な授業の活用について検討します。</li> </ul>
取組・実績
<p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多治見市の人口や無形文化財の方の人数の変更など、小改訂を行いました。</li> <li>・デジタルデータをロイロノート・スクールに格納し、タブレット端末でも活用できるようにしました。</li> </ul> <p>&lt;主要な事業費（R7年度予算）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷製本費 1,730千円</li> </ul>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本での学びと体験学習の両方の授業を行うことで、多治見市の産業・文化等についての学びを深めることができました。</li> </ul>
令和8年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小改訂を行い、改訂内容について周知し、授業での活用を推進します。</li> <li>・デジタル版も含めた副読本による効果的な授業の活用について検討します。</li> </ul>

## (3) 将来のリーダー育成をめざす連合生徒会の開催

各中学校の生徒会役員が学校の代表として集まる連合生徒会を開催し、地域のリーダーとして育成します。参加者は、学校の代表として意見を表明し、他の学校の意見から学び、学校間の絆を深めます。

令和7年度計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の開催を継続します。</li> <li>・将来を担う多治見市のリーダー育成に資する連合生徒会を引き続き開催します。</li> </ul>
取組・実績
<p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第38回連合生徒会交流会（令和7年7月31日 議長校 南ヶ丘中学校） 「令和版多治見市中学校宣言」に基づく各校の取組を交流しました。 *たじみDMOの代表を講師として招き、多治見市の発展において自分ができることを考える必要性を学びました。</li> <li>・第39回連合生徒会交流会（令和8年1月6日 議長校 北陵中学校） 「令和版多治見市中学校宣言」に基づく各校の取組を交流しました。</li> </ul> <p>&lt;主要な事業費（R7年度予算）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料及び賃借料 256千円</li> </ul>

<p>&lt;連合生徒会交流会&gt;</p>
成果・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校の生徒とも積極的に関わりながら話し合うことができました。</li> <li>・他校の活動から学び、自校の取組に活かそうとする姿が見られました。</li> <li>・議長校のリーダーシップのもと、円滑に会を進行することができました。</li> <li>・他校の生徒と交流しながら、リーダーとしての考え方や心構えを学ぶことができました。</li> </ul>
令和8年度取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の開催を継続します。</li> <li>・将来を担う多治見市のリーダー育成に資する連合生徒会を引き続き開催します。</li> </ul>

## ● 計画の成果目標

土曜学習講座参加者		
基準値（令和４年度）	現状（令和７年度）R8.2.6 現在	目標（令和９年度）
年間累計 548 人	872 人 （うち中学生ボランティア 134 人）	年間累計 700 人

「多治見市に愛着がありますか」の質問に「ある」「どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合 （「自立・共生・挑戦等に関する調査」の「郷土愛」の項目）		
基準値（令和４年度）	現状（令和７年度）	目標（令和９年度）
—	小学校低学年 96% 小学校高学年 90% 中学校 79% ※令和６年度 小学校低学年 95.7% 小学校高学年 88.9% 中学校 76.1%	小学校低学年 50%→ <u>98%</u> 小学校高学年 50%→ <u>92%</u> 中学校 50%→ <u>82%</u>